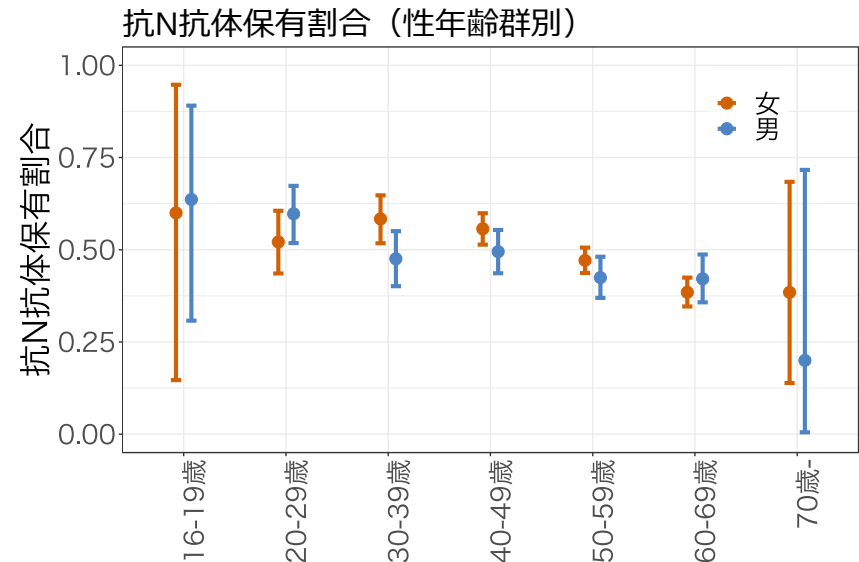
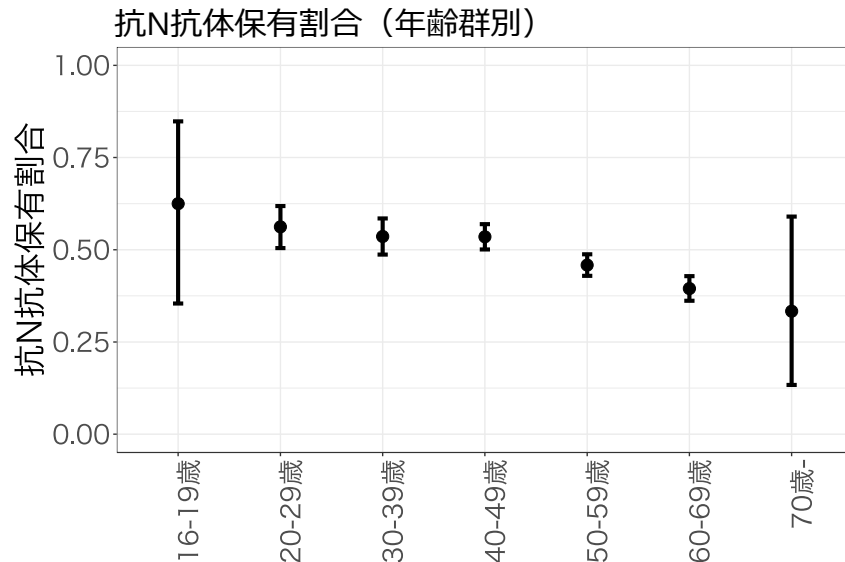


健診検査における血液検査検体の残余を用いた 新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査について(概要、結果(速報値))

- 感染症法に基づく積極的疫学調査として、令和5年11月28日～12月11日に事業所における事業者健診で採取された検査用検体の残余血液を用いて、各年齢群における抗体保有状況を調査。調査の結果、国内29都府県から合計3600検体を収集(2023/12/11時点)。
- 全体としては、**抗N抗体保有割合は47.9%(95%CI: 46.3-49.6%) (速報値)**。
※ 新型コロナウイルスに感染した場合は、抗N抗体と抗S抗体の両方が陽性になる。



【調査概要】

- ・対象者 調査期間中に事業者健診で採血検査を受けた者 3,600名 (12月11日時点)
- ・測定項目 抗N抗体
- ・統計分析 年齢群毎の抗体保有割合と95%信頼区間 (CI) の推定等。信頼区間はBinomial exact CIで構成。
- ・測定機器 ロシュ-ダイアグノスティクス株式会社 Elecsys® Anti-SARS-CoV-2
- ・実施主体 厚生労働省 (協力: 株式会社ベネフィット・ワン、分析機関: 国立感染症研究所)

【留意事項】

- ・結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。
 - ✓ 本調査は、国内29都府県に所在する事業所における事業者健診で採取された検体に偏っており、我が国全体の事業者健診における抗体保有割合とは異なる可能性があること
 - ✓ 今回の測定結果は、陽性判定された検体数を全検体数で割った値であり、単純集計にて求めたものであること

健診検査における血液検査検体の残余を用いた 新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査について(概要、結果(速報値))

表1.性別

性別	抗体保有割合 (95% CI)
女	48.2% (46.2 - 50.2%)
男	47.3% (44.5 - 50.2%)

表2.年齢群別

年齢群	抗体保有割合 (95% CI)
16-19歳	62.5% (35.4 - 84.8%)
20-29歳	56.2% (50.4 - 61.8%)
30-39歳	53.6% (48.7 - 58.5%)
40-49歳	53.5% (50.1 - 56.9%)
50-59歳	45.8% (42.9 - 48.8%)
60-69歳	39.5% (36.2 - 42.9%)
70歳-	33.3% (13.3 - 59.0%)

表3.性年齢群別

性年齢群	抗体保有割合 (95% CI)
女-16-19歳	60.0% (14.7 - 94.7%)
女-20-29歳	52.1% (43.6 - 60.6%)
女-30-39歳	58.4% (51.8 - 64.8%)
女-40-49歳	55.7% (51.4 - 59.9%)
女-50-59歳	47.1% (43.7 - 50.6%)
女-60-69歳	38.5% (34.6 - 42.4%)
女-70歳-	38.5% (13.9 - 68.4%)
男-16-19歳	63.6% (30.8 - 89.1%)
男-20-29歳	59.8% (51.8 - 67.3%)
男-30-39歳	47.5% (40.1 - 55.0%)
男-40-49歳	49.5% (43.6 - 55.4%)
男-50-59歳	42.5% (37.0 - 48.1%)
男-60-69歳	42.1% (35.7 - 48.7%)
男-70歳-	20.0% (0.5 - 71.6%)